

高島ゼミOBORG会 ミニサロン開催実績報告

- 第1回 2006年10月14日
森達也「表現の自由、ナショナリズムなど」
- 第2回 2007年8月19日
二木啓孝「参議院選挙後の日本政治」
- 第3回 2007年10月14日
太田治子「作家たちの戦争責任」
- 第4回 2008年6月14日
高橋武智「ベ平連が生んだ市民運動としてのジャティク」
- 第5回 2008年10月25日
鷲尾賢也「日本の出版界の現状と未来」
- 第6回 2008年11月29日
椎橋勝信「総選挙と政界再編」
- 第7回 2009年3月14日
川村孝則「日本における市民主義の系譜での高島通敏の役割」
- 第8回 2009年11月7日
鎌田慧「冤罪事件とその背景」
- 第9回 2010年11月6日
中山千夏「個人的な話」
- 第10回 2011年5月28日
佐高信 「原発事故とその後の日本」
- 勉強会 2011年5月14日
佐々木研一 「東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所の事故」
- 第11回 2013年1月12日
五野井郁夫 「デモとは何か」→高島通敏の政治学の現在
- 第12回 2013年5月25日
正津勉 「『アメノウズメ伝』を読んで」
- 第13回 2014年2月15日
吉田敏浩 「日米安保・地位協定の密約と秘密保護法と戦争体制の企て」